

英米文学科主催講演会記録（昭和47年～）

開催日	講演者 ・ 演 題
昭和47年5月18日(木)	外山 滋比古 氏（お茶の水女子大学教授） 「英文学の研究について」
昭和47年6月16日(金)	小池 滋 氏（都立大学教授） 「ピカレスク小説と現代」
昭和47年10月25日(水)	郡司 利男 氏（明治学院大学教授） 「言語の問題」
昭和47年11月29日(水)	高橋 康也 氏（東京大学助教授） 「アリスの不思議な国」
昭和48年6月20日(水)	西脇 順三郎 氏 座談会 「詩の話」
昭和58年6月24日(金)	大江 健三郎 氏
昭和58年11月	Donald Keene 氏（コロンビア大学教授）
昭和59年6月14日(木)	トミー 植松 氏（玉川大学教授）
昭和59年12月6日(木)	大岡 信 氏 「私と西欧詩」
昭和60年6月27日(木)	星野 徹 氏（茨城大学教授） 「詩と批評について」
昭和60年11月28日(木)	梶木 隆一 氏（明星大学教授）
昭和61年11月14日(金)	Melissa Erin Curry-Watt 女史 「アマーストの美女」ーエミリー・ディキンソンの生涯ー
昭和62年6月25日(木)	小池 滋 氏（都立大学教授） 「鉄道と文学」
昭和63年6月9日(木)	谷川 俊太郎 氏 ・ ウィリアム・エリオット 氏 「詩の集い（朗読とおしゃべり）」
平成元年6月14日(水)	高橋 康也 氏（東京大学教授） 「猫と文学」
平成元年12月6日(水)	小田島 雄志 氏（東京大学教授、演劇評論家） 「シェークスピアの人間学」
平成2年6月28日(木)	白井 佳夫 氏（映画評論家） 「私の映画学」

開催日	講演者 ・ 演 題
平成 3 年 12 月 4 日(水)	海老根 宏 氏 (東京大学教授) 「ハーディーの『テス』－自然と精神」
平成 4 年度	講演会開催されず
平成 5 年 6 月 14 日(月)	ジュエル・スピアズ・ブルッカー 女史 (同志社大学教授) 「T・S・エリオットとモダニズム」
平成 5 年 11 月 25 日 (木)	富士川 義之 氏 (東京大学教授) 「詩と絵画－レディー・オブ・シャロットをめぐって」
平成 6 年 6 月 23 日(木)	新倉 俊一 氏 (明治学院大学教授) 「眼の詩人 － 西脇順三郎と英文学」
平成 6 年 12 月 1 日(木)	羽鳥 博愛 氏 (聖徳大学教授) 「大学生の英語学習はどうあるべきか」
平成 7 年 5 月 25 日(木)	マイケル・スレイター 氏 (ロンドン大学教授) 「ディケンズとクリスマス」
平成 7 年 10 月 12 日 (木)	クリスティーン・アレグザンダー 女史 (ニューサウスウェルズ大学準教授) 「自由の息吹『嵐が丘』研究」
平成 8 年 6 月 27 日(木)	小池 生夫 氏 (明海大学教授・大学英語教育学会会長) 「国際比較から見たわが国の国家政策としての外国研究」
平成 8 年 11 月 14 日(木)	巽 孝之 氏 (慶應義塾大学助教授) 「世紀末のファミリーロマンス」
平成 9 年 6 月 26 日(木)	水之江 有一 氏 (千葉大学教授) 「アイルランドの文学 － 現実と神話」
平成 9 年 11 月 20 日(木)	キャスリーン・フレイザー 女史 (詩人) 「アメリカ現代詩と私 (詩の朗読を含む)」
平成 10 年 6 月 18 日(木)	河村 錠一郎 氏 (一橋大学教授) 「物語る絵画、物語らぬ絵画－文学と世紀末の絵画をめぐって」
平成 10 年 12 月 3 日(木)	井村 君江 氏 (明星大学教授) 「ケルト文化と英文学」
平成 11 年 6 月 3 日(木)	亀井 俊介 氏 (東京大学名誉教授) 「アメリカ文化と日本文化」
平成 11 年 11 月 25 日(木)	長澤 忍 氏 (詩人) 「世紀末の詩人の生活 －グーテンベルグ病からWWW病へ」
平成 12 年 6 月 1 日(木)	國弘正雄 氏 (エディンバラ大学特任客員教授) 「英語にとり憑かれた日本と私」

開催日	講演者 ・ 演 題
平成 12 年 11 月 30 日(木)	川崎 淳之助 氏 (聖徳大学教授) 「オリエントと英文学」
平成 13 年 6 月 28 日(木)	藤富 保男 氏 (詩人) 「詩をみるということ」
平成 13 年 11 月 29 日(木)	高山 宏 氏 (東京都立大学教授) 「シャーロック・ホームズの世紀末」
平成 14 年 7 月 4 日(木)	野島 秀勝 氏 (文芸評論家・お茶の水女子大学名誉教授) 「シェイクスピアとは何か」
平成 14 年 11 月 14 日(木)	アルフレッド・ハベガー 氏 (カンザス大学名誉教授・作家) 「ディキンソンの不滅」
平成 15 年 5 月 29 日(木)	高松 雄一 氏 (東京大学名誉教授・元駒澤大学教授) 「ワイルドの改訂作業 ―世紀末的想像力的一端」
平成 15 年 11 月 20 日(木)	ジョージ・ヒューズ 氏 (東京大学客員教授) 「ラフカディオ・ハーンと女性達」
平成 16 年 3 月 5 日 (金)	杉浦銀策教授最終講義 「十七世紀アメリカ・ピューリタンとピーコット戦争」―アメリカ帝国主義の原型―
平成 16 年 6 月 24 日(木)	尾崎 寔 氏 (同志社女子大学教授) 「出会い―英語と詩人ハベルとシェイクスピア」
平成 16 年 11 月 18 日(木)	ロイ・ミキ 氏 (作家) 「日系カナダ文学」
平成 17 年 5 月 26 日(木)	白石 かずこ 氏 (詩人) 「満月のランニング」、俳句と詩の間、朗読
平成 17 年 10 月 13 日(木)	寺澤 芳雄 氏 (東京大学名誉教授) 「英語の語源散策 ―ことばの苑をめぐる―」
平成 18 年 5 月 18 日(木)	中上 哲夫 氏 (詩人) 「ギンズバーグとわたし」
平成 18 年 10 月 12 日(木)	John Scahill 氏 (慶應義塾大学教授) “New attitudes to love in medieval European culture”
平成 19 年 6 月 7 日 (木)	川口 喬一 氏 (筑波大学名誉教授) 「イギリス小説の読み方 ―identity をさがす子供たち―」
平成 19 年 11 月 8 日 (木)	荒井 良雄 氏 (駒澤大学名誉教授) 「映画の世紀を生きて ―英米の映画と私―」 -Living in the Age of Movies : British-American Films and Myself-
平成 20 年 6 月 26 日(木)	今井 聖 氏 (俳人) 「俳句と詩の交響 ―子規、パウンド、ブライを巡って―」
開催日	講演者 ・ 演 題

平成 20 年 11 月 6 日 (木)	加藤 光也 氏 (首都大学東京教授) 「ハーン (八雲) とイエイツとジョイス」
平成 21 年 3 月 5 日 (木)	久保内端郎教授・富士川義之教授最終講義 久保内端郎教授 「初期英語研究とテキストの問題 -ヴァリエントをめぐって-」 富士川義之教授 「文学と絵画 -ラスキンとラファエル前派-」
平成 21 年 5 月 21 日 (木)	柴田 元幸 氏 (アメリカ文学研究者、翻訳家) 「英米小説を読むこと、訳すこと」
平成 21 年 11 月 5 日 (木)	ピータ A マックミラン 氏 (杏林大学教授) 「和歌の翻訳を通して見る日本人の感性」
平成 22 年 6 月 17 日 (木)	タイモン スクリーチ 氏 (ロンドン大学 芸術・考古学学科美術史教授) 「蘭学と読みの問題」
平成 22 年 10 月 7 日 (木)	マンフレッド ゲルラッハ 氏 (ケルン大学名誉教授) 「アメリカにおける英語: 合衆国、カナダ及びカリブ海地域」
平成 23 年 5 月 26 日 (木)	ジェイスン ジェイムズ 氏 (ブリティッシュ・カウンシル駐日代表 英国大使館文化参事官) 「英国詩人エドモンド・ブランデンと日本」
平成 24 年 6 月 21 日 (木)	ドナルド キーン氏 (コロンビア大学名誉教授) 「“俳人 正岡子規” -半世紀の研究を語る-」
平成 24 年 11 月 1 日 (木)	福間 健二氏 (首都大学東京教授) 「英米の詩から学んだこと」
平成 25 年 6 月 27 日 (木)	森田 則行氏 (榊ミキモト前社長) 「ブランドとは何か」
平成 25 年 11 月 21 日 (木)	ジェフ・ストーリー氏 「Too Much and Never Enough」 -グローバルな人材のための言語学習と評価について-
平成 26 年 6 月 24 日 (火)	楠 明子氏 「シェイクスピア劇の<女>たち -二つのタイプとその変容」
平成 26 年 10 月 30 日 (木)	野村 喜和夫氏 「近未来近代 -わが日本近代詩書き換えの試み」
平成 27 年 6 月 11 日 (木)	タイモン・スクリーチ氏 「シェイクスピア時代の東インド会社、日本、イギリス文学」
平成 27 年 11 月 12 日 (木)	富士川 義之氏 「詩がうまれるとき - ロマン主義からモダニズムへ」
平成 28 年 6 月 30 日 (木)	八木 幹夫氏 「詩の面白さ - 自作の詩を中心に」
開催日	講演者 ・ 演 題

平成 28 年 10 月 13 日 (木)	マット・バーニー氏 「ソフトパワーと文化交流が世界に与える影響」
平成 29 年 6 月 15 日 (木)	小川 高義氏 「翻訳の現場レポート」
平成 30 年 6 月 28 日 (木)	仙葉 豊氏 「ホガースの銅版画から読む幽霊のお話」
令和 1 年 6 月 6 日 (木)	大橋 洋一氏 「映画の音を観る」
令和 1 年 11 月 7 日 (木)	ジェイミー ギビングス氏 「Cultural relations, trust and opportunities」
令和 3 年 10 月 7 日 (木)	マシュー・ノウルズ氏 'Dealing with difference' – building friendship with other countries.
令和 4 年 6 月 30 日 (木)	小崎 充氏 「心と体の英文法」
令和 4 年 11 月 10 日 (木)	アリソン・ビール氏 The University of Oxford and the role of women in the University's history
令和 5 年 6 月 8 日 (木)	西垣内磨留美氏 「黒人」を取り巻く「白人たち」多民族研究の視点から
令和 5 年 11 月 9 日 (木)	ロジャー・グッドマン氏 The experience of English University Students: As seen from Japan 「日本から見たイギリスの大学生の経験」
令和 6 年 7 月 4 日 (木)	丹治 愛氏 農業労働者はいつイギリスの絵画および小説に登場してくるか —ゲインズバラ、コンスタブル、ハーディ、モリス、そしてロレンス少々
令和 6 年 11 月 28 日 (木)	スペンサー・ヘイゼル氏 Machines with intercultural competence: developing conversational AI for diverse populations 「異文化対応能力を持つ機械：多様な人々のための会話型 AI の開発」